

長野県安曇野市：安曇野市における地域資源活用による脱炭素化推進事業



事業計画の特徴

- 長野県は、きのこ生産量が国内トップクラスであるが、生産に伴って発生する**廃培地の処理に苦慮**。安曇野市では、**廃培地を乾燥・固形化することで、市営温泉施設等で使用するバイオマスボイラーの燃料として、地産地消**する計画
- その他の取組として、公共施設にPPA事業による太陽光発電設備を導入するほか、民間会社への自家消費型の太陽光発電設備の導入を計画
- 乾燥廃培地の用途として、畜産農家の飼料や、農家や家庭菜園のたい肥があるが、木質チップと併用することで、バイオマスボイラーの燃料として利用が可能になる。今回の取組を通じて、廃培地の用途が増え、長野県に限らず、**全国的な課題である廃培地利用の先進事例**となることを目指す。

事業計画の概要（民間）

再エネ：330kW

取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 2件 330kW

事業計画の概要（公共）

再エネ：2,710kW

取組	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 25件 2,710kW
蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> 13件 1,060kWh
バイオマス燃料製造システム導入	<ul style="list-style-type: none"> 1式
バイオマスボイラーの導入（廃培地固形燃料）	<ul style="list-style-type: none"> 3台
バイオマスボイラーの導入（乾燥チップ燃料）	<ul style="list-style-type: none"> 3台

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
3,040kW	60,665 t-CO2	15億円	9億円	令和4年度～令和8年度

取組のイメージ

